

Y-1:非営利団体セッション

国立研究開発法人科学技術振興機構

開催日時・会場 9月3日(火曜日) 10:30-12:00 新C103(1階)

JREC-IN PortalでわかるURAの求人求職状況と researchmap、J-GLOBALを用いたURAの業務支援

URAは平成23年度以降、大学等への一定の配置がなされ、その成果についても評価されつつある。しかし、URAそのもののあり方については議論が尽きない。これは、大学の求める人材が必ずしも適切に採用・配置されていないというマッチングの問題や、URAのパフォーマンスに個人差が生じているという問題が議論の根底にあると考えられる。JSTは、ファンディングエージェンシーの顔をもつ一方、実は、研究人材のキャリア支援ポータルサイトの運営の他、科学技術情報流通促進のために、研究開発活動に係る基本的な情報を体系的に収集・整備し提供する事業も行ってきた。そのため、本セッションではJSTの提供する情報サービスにおけるURAの求人・求職状況についての報告や、情報サービスを活用したURA業務支援の提案を行いたい。具体的にはJREC-IN Portal、researchmap、J-GLOBALの3つのサービスを柱にセッションを展開する。

【JREC-IN Portal】研究開発等に特化した求人・求職サイト。文部科学省が実施した調査(平成30年3月)においてJREC-IN Portalを含む既存のマッチングサイトの比較検討が行われた。URA人材採用に係る本サービスの活用状況および、調査結果を踏まえた今後の展望についても報告したい。

【researchmap】登録者数29万人超えの日本の研究者情報を集積するデータベース。研究者の登録した情報を、URAがプレアワード業務、運営支援業務において活用できる便利な利用方法を提案する。また次期researchmapの開発状況、実装予定の機能についても紹介する。

【J-GLOBAL】研究者、文献、特許、研究課題、機関、科学技術用語、化学物質、遺伝子、資料、研究資源の10種類の精度の高い科学技術情報を一度に検索でき、発想を支援する横断検索サービス。こちらは「情報をつないで発想を支援する」というコンセプトを元に設計されているサービスで、プレ/ポストアワード業務を中心に想定した活用方法を紹介する。

幅広いURA業務の中で少しでも課題解決のヒントとなるようなセッションを目指す。

オーガナイザー

高橋 奈々子：国立研究開発法人科学技術振興機構
情報企画部企画管理グループ 主査



民間企業を経て、平成26年4月に科学技術振興機構に入社。人財部にて契約職員の人事業務に従事。平成30年7月より現職。JSTの提供する情報サービスの広報を担当している。

司会者

水野 充: 国立研究開発法人科学技術振興機構 情報企画部 部長



昭和59年日本科学技術情報センター入社。各種データベースの開発運用、ファンディング事業の運営に従事した。平成27年11月より金沢大学にてURA業務に従事したことをきっかけに、平成29年4月よりRA協議会事務局長、同年10月よりWPIナノ生命科学研究所事務部門長補佐を歴任し、平成31年4月より現職。

講演者

米陀 正英: 国立研究開発法人科学技術振興機構 情報基盤事業部人材情報グループ 主査



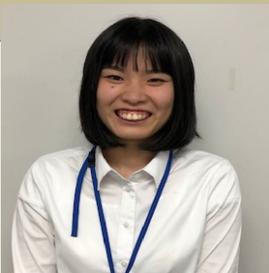
民間企業を経て、平成26年4月に科学技術振興機構に入社。データ分析、ファンディング情報管理システム構築、知財権利化支援等の業務を経て、平成29年10月より現職。JREC-IN Portalの企画・運営に従事している。

粕谷 直: 国立研究開発法人科学技術振興機構 情報基盤事業部人材情報グループ 係員



学生時代は生物資源学、統計学を専攻し、資源量推定や環境変動耐性に関する研究で修士号を取得したのち、平成30年4月に科学技術振興機構に入社。入社以来、researchmapの企画・運営に従事している。

川村 優実: 国立研究開発法人科学技術振興機構 情報企画部知識インフラグループ 係員



学生時代は工業化学を専攻し、電気化学検出用の新規電極材料に関する研究で修士号を取得したのち、平成30年4月に科学技術振興機構に入社。入社以来、J-GLOBALの企画・運営に従事している。J-GLOBALのサイトリニューアルなどを手がけた。